

普通徴収切替理由書（兼仕切紙）

市区町村名	富士見町	指定番号	
事業者名			

符号	普通徴収切替理由	人数
普A	総受給者数が2人以下 (受給者総人員から、下記「普B」～「普F」に該当する受給者(他市区町村分を含む)を差し引いた人数)	人
普B	他の事業所で特別徴収(例:乙欄適用者)	人
普C	給与が少なく税額が引けない(例:年間の給与支給額が103万円以下)	人
普D	給与の支払いが不定期(例:給与の支払いが毎月でない)	人
普E	事業専従者(個人事業主のみ対象)	人
普F	退職者、退職予定者(5月末日まで)及び休職者	人
合 計		人

- 指定番号・事業者名を必ず記入してください。
- 普通徴収とする場合は、個人別明細書の摘要欄に該当する符号(普A、普Bなど)を記入してください。
- この普通徴収切替理由書の提出がない場合、原則通り、特別徴収対象者となります。
- 符号「普F」の休職者とは、休職により4月1日現在で給与の支払いを受けていない場合に限りです。

【普通徴収切替理由書の記入要領】

- 普通徴収切替理由に該当し、かつ特別徴収できない方がいる場合は、該当理由の「人数」欄に、人数(富士見町内に居住の給与受給者のみ対象)を記入し、毎年1月末日までに、給与支払報告書と併せて提出してください。
- 該当理由が複数ある場合は、該当理由のいずれか一つに人数を記載してください。
- 符号「普A～普F」の6項目以外の理由(個人の希望、事務の増加、専任の経理担当者がいない等)による普通徴収への切替は認められません。
- 普Aの理由に該当するかどうかは、他市区町村の居住者も含めて計算し、事業所全体で判定してください。
※普Aの人数欄には、富士見町分のみを記載いただくとともに、2人以下であることを確認してください。
- 普Fの退職予定者は、個人別明細書の摘要欄に退職予定日を必ず記入してください。
- eLTA等の電子媒体で給与支払報告書を提出する場合は、該当する方の「普通徴収」欄に必ずチェックを入力した上で、該当する符号(普Aなど)を摘要欄に記入してください。なお、普通徴収切替理由書の添付は不要です。

《提出時の綴り方》

総括表
仕切紙
個人別明細書 (特別徴収分)
普通徴収切替理由書
個人別明細書 (普通徴収分)

上記普A～Fの普通徴収切替理由に該当する従業員がいる場合、その方の個人別明細書の前へ入れていただき、特別徴収分と普通徴収分の仕切紙としてご使用ください。

理由書の合計人数と普通徴収分の枚数が一致します。

《個人別明細書摘要欄 抜粋》

社会保険料等の金額	生命保険料の控除額
内 千 円	内 千 円
(摘要)	

普F

該当する符号(普A～普F)を必ず記入してください。

令和×年×月×日 退職予定

退職予定者は退職予定日を必ず記入してください。

※ 普通徴収切替理由書の提出が無い場合や記載内容に不備がある場合は、普通徴収への切替ができないことがありますので、ご注意ください。